

科目名	邦楽アンサンブル I～VIII	形態	実習	開講期	春・秋
担当教員	芦垣 美穂	単位	1	年次	1, 2, 3, 4

### ＝授業科目の目標＝

邦楽器は殆んど全てのジャンルが合奏形態による完成形である。最小アンサンブルは3名による三曲合奏(箏、三絃、尺八)から百名を越す大合奏曲迄幅広い音楽を持つ世界である。その特性を生かし、相手の楽器、自分の楽器との融和を図る事。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

基本がパート練習に尽きる事を認識させ、他者を頼る事なく、自力で曲の解釈、理解、全体の把握が出来る様にし、その上で他者の音楽を聞き分ける様にする。

### ＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
  - 2回 合奏曲のパート練習（その1）
  - 3回 パート変更してパート練習（その1）
  - 4回 1回目のパートによる合奏開始 各パートの主張を聞きとる（その1）
  - 5回 その形での完成を目指す（その1）
  - 6回 2回目のパートによる合奏開始（その1）
  - 7回 その形での完成を目指す（その1）
  - 8回 合奏曲のパート練習（その2）
  - 9回 パート変更してパート練習（その2）
  - 10回 1回目のパートによる合奏開始 各パートの主張を聞きとる（その2）
  - 11回 その形での完成を目指す（その2）
  - 12回 2回目のパートによる合奏開始（その2）
  - 13回 その形での完成を目指す（その2）
  - 14回 院生のソロを加えての大合奏曲に挑む（その1）
  - 15回 院生のソロを加えての大合奏曲に挑む（その2）
- 春は定期試験は行わない。  
秋は定期演奏会での実績で評価する。

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

パート練習の段階からその力を見極め、ソロタイプか、高音域担当かベースパートが担当かをも判断し、学生の進むべき道を示しつつ合奏能力を評価の対象とする。

### ＝テキスト（必携）＝

特になし